

2024 年度 自己評価公表

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 こうのとり保育園

法人理念

～キリスト教精神による隣人愛～

こうのとり保育園 教育・保育理念

キリスト教の精神を基本理念とし、児童福祉法・児童憲章にのっとり、健康で安全・安心な乳幼児の教育・保育を目指します。

- *愛されて、愛する心を知り、お互いが大切な存在であることを知る。
- *一人ひとりの違いに気づき、お互いを認め合いながら共に主体的に生活する。
- *自己発揮できる感興の中で創造性を育てる。
- *在園・地域の子育て家庭が心豊かな環境で子育てできるように支援する。

こうのとり保育園では、「保育者のための自己評価チェックリスト～保育者の専門性の向上と園内研修の充実のために～」を使い、職員が自己評価を行いました。自己評価の結果から見えてきた、園としての課題を職員間で共有し、教育・保育の質の向上のため次年度の取り組みにつなげていきたいと思ひます。

	自己評価結果・課題
第2章 「ねらい」及び「内容」 1, 乳児保育に関するねらい及び内容 2, 1歳以上3歳未満児の保育に関するねらい及び内容 3, 保育の実施に関わる配慮事項 (乳児・1歳以上3歳未満) 4, 3歳以上児の保育に関わるねらい 及び内容	子どもたちに必要な経験が一年を通してどこまで出来たのか課題が挙げた。子どもの興味関心に合わせた保育環境、遊びの提供や、発達への意識が歳児によって薄く、差が出てしまった。季節毎一つの遊び・活動にスポットを当て、可視化することで保育の連続性を意識するようにした。他クラスとの連携や共有がより強化されていくため、引き続き次年度も続けていき、歳児によって経験の偏りがないようにしていきたい。
第3章 健康及び安全 1, 健康支援 2, 食育 3, 環境・衛生管理、安全管理 4, 災害への備え	近年の異常気象に加え、夏に南海トラフ地震臨時情報が発令され、災害への意識がより高まった一年であった。各自がBCPや各マニュアルに目を通すことが多かったが、ハザードマップを見直したりネット環境が使えない時の対応は再度見直しが必要である。
第4章 子育て支援 1, 園児の保護者に対する子育て支援 2, 地域における子育て支援	日々の連絡帳やドキュメンテーションに加え、送迎時や保育参加時の面談で日常の子どもたちの様子を保護者と共に共有している。職員会議でドキュメンテーションから見える子どもの姿を共有し、日々学び続けている。この学びは続けていきたい。 園内に支援センターが併設されている。園庭開放が再開され、園児と地域の子育て家庭との交流が戻ってきている。支援センターの職員との情報交換もしやすく、園内外の子育て支援への役割を果たせるようになっている。

全体として

今回の自己評価だけでなく、秋に受けた第三者評価でも振り返りを行う時間を持ち、一人ひとりの課題が見えてきた。得意な部分は更に伸ばせるよう、また苦手な部分は互いに補えるよう、自己評価で見えてきた園や職員の強み・弱みを明確にしながら、今後さらに取り組みを進め、保育の質の向上を目指していきたい。また積極的に外部の研修に参加するだけでなく、多くの職員が参加できるよう園内でも職員共有、研修を定期的に行っていきたい。